



Digital Garage

2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社デジタルガレージ

コード番号 4819 URL https://www.garage.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 兼 社長執行役員グループCEO (氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部共同本部長 (氏名) 土居 展陽 TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	14,564	△63.7	△6,642	-	△4,439	-	△4,351	-	△4,308	-
2022年3月期第2四半期	40,109	108.2	27,425	354.3	18,409	374.0	18,496	362.0	18,013	234.4

	基本的1株 当たり四半期利益	希薄化後1株 当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△92.21	△92.21
2022年3月期第2四半期	401.21	362.60

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	232,686	92,033	90,186	38.8
2022年3月期	231,607	97,217	95,738	41.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	35.00	35.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2023年3月期における期末配当予想は未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

インキュベーションテクノロジー事業にて展開する国内外の未公開企業等への投資・育成分野において、当社グループが保有する有価証券の期末時点における公正価値を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。なお、詳細につきましては、(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	47,598,700株	2022年3月期	47,482,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	358,885株	2022年3月期	390,960株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	47,182,634株	2022年3月期2Q	46,099,313株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

四半期決算説明会については、当社ウェブサイト（<https://www.garage.co.jp/ja/ir/library/>）において日本語及び英語で動画を掲載する予定であります。この説明会で使用する資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く市場環境は、当社グループが事業展開する電子決済市場、インターネット広告市場ともに今後も継続的な成長が見込まれております。

電子決済市場においては、物販やデジタルコンテンツを中心に市場規模が拡大し、2021年の消費者向け電子商取引（BtoC-EC）は前年比7.4%増の20兆6,950億円となりました（注1）。また、2018年4月に内閣府主導のもと、国内のキャッシュレス決済比率を2017年の21.3%（注2）から2025年に40%とする目標が設定されており（注3）、2021年には32.5%（注2）まで到達するなど、国内のキャッシュレス化が順調に進捗している背景から、今後も継続的な市場の成長が見込まれます。

また、インターネット広告市場は、2021年にインターネット広告費がマスコミ四媒体広告費を初めて上回り、前年比21.4%増の2兆7,052億円（注4）となるなど、社会のデジタル化加速が追い風となり引き続き市場の拡大が期待されます。

出所 （注1）経済産業省「令和3年度 電子商取引に関する市場調査 報告書（2022年8月）」

（注2）一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2022（2022年6月）」

（注3）経済産業省「キャッシュレス・ビジョン（2018年4月）」

（注4）(株)電通「2021年日本の広告費」

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
収 益	40,109	14,564	△25,545	△63.7
税引前四半期利益（△損失）	27,425	△6,642	△34,067	—
四半期利益（△損失）	18,409	△4,439	△22,848	—
親会社の所有者に帰属する 四半期利益（△損失）	18,496	△4,351	△22,846	—
四半期包括利益	18,013	△4,308	△22,321	—

当第2四半期連結累計期間の収益は14,564百万円（前年同期比25,545百万円減、同63.7%減）、税引前四半期損失は6,642百万円（前年同期は27,425百万円の利益）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は4,351百万円（前年同期は18,496百万円の利益）、四半期包括利益は△4,308百万円（前年同期比22,321百万円減）となりました。当第2四半期連結累計期間は、フィナンシャルテクノロジー事業において決済取扱高が引き続き伸長し業績が堅調に推移したほか、ロングタームインキュベーション事業において、外食業界が回復に向かったこと等を受け、(株)カカオムの持分法による投資利益が前年同期を上回りました。一方で、当社投資先であるBlockstream Corporation Inc.において、公正価値測定による評価額が大幅に減少した結果、インキュベーションテクノロジー事業の「営業投資有価証券に関する収益」及び事業セグメントに属していない全社共通の「金融費用」として評価損を計上しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、不動産業界のDX化を推進する「Musubell事業」をマーケティングテクノロジー事業からロングタームインキュベーション事業へセグメント変更をしております。前第2四半期連結累計期間は、当セグメント変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。また、当セグメント変更による影響額は軽微であります。

(単位：百万円)

		前第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同期比	
				増減額	増減率 (%)
フィナンシャル テクノロジー事業	収 益	5,191	5,618	428	8.2
	税引前四半期利益	2,228	2,430	202	9.1
マーケティング テクノロジー事業	収 益	6,314	5,775	△540	△8.5
	税引前四半期利益	431	372	△58	△13.5
インキュベーション テクノロジー事業	収 益	16,229	△11	△16,240	—
	税引前四半期利益	15,522	△963	△16,485	—
ロングタームインキ ュベーション事業	収 益	2,028	2,426	399	19.7
	税引前四半期利益	1,078	1,293	215	19.9
調 整 額	収 益	10,347	755	△9,591	△92.7
	税引前四半期利益	8,166	△9,774	△17,940	—
合 計	収 益	40,109	14,564	△25,545	△63.7
	税引前四半期利益	27,425	△6,642	△34,067	—

【フィナンシャルテクノロジー事業】

フィナンシャルテクノロジー事業では、Eコマース（EC）をはじめとするBtoCの商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューション及び決済周辺サービス等の提供を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、非対面領域において、電子商取引市場の成長を上回るペースで取扱高が増加したほか、対面領域におけるアライアンスパートナーとの戦略提携が奏功し、決済取扱高は前年同期比約20%増の2兆4,792億円、決済取扱件数は同約23%増の4.6億件となりました。

これらの結果、収益は5,618百万円（前年同期比428百万円増、同8.2%増）、税引前四半期利益は2,430百万円（前年同期比202百万円増、同9.1%増）となりました。

【マーケティングテクノロジー事業】

マーケティングテクノロジー事業では、総合的なデジタルマーケティングや様々なデータを活用したデータマーケティングビジネス等を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、インターネット広告を手掛ける当社マーケティングテクノロジーカンパニーにおいて、主力のデジタルアド事業が底堅く推移しました。一方で、不動産広告領域においては前年同期に計上した大型プロジェクト案件の反動により収益が減少しました。

これらの結果、収益は5,775百万円（前年同期比540百万円減、同8.5%減）、税引前四半期利益は372百万円（前年同期比58百万円減、同13.5%減）となりました。

【インキュベーションテクノロジー事業】

インキュベーションテクノロジー事業では、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、投資先であるBlockstream Corporation Inc.において、公正価値測定による評価額が大幅に減少しました。一方で、米ドル高の進行に伴い外貨建営業投資有価証券の公正価値が増加したこと等により、収益は△11百万円（前年同期比16,240百万円減）、税引前四半期損失は963百万円（前年同期は15,522百万円の利益）、当第2四半期連結会計期間末における営業投資有価証券の残高は、79,769百万円（前連結会計年度末比1,820百万円増）となりました。

〔ロングタームインキュベーション事業〕

ロングタームインキュベーション事業では、当社グループがこれまで培ってきた投資育成や事業開発のノウハウを活かし、中長期的かつ継続的な事業利益の創出に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした行動制限の解除を受けて外食業界が回復に向かったこと等により、持分法適用会社である(株)カカクムの業績が前年同期を上回り、収益は2,426百万円（前年同期比399百万円増、同19.7%増）、税引前四半期利益は1,293百万円（前年同期比215百万円増、同19.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率 (%)
流動資産	147,642	157,418	9,776	6.6
非流動資産	83,965	75,268	△8,697	△10.4
資産合計	231,607	232,686	1,079	0.5
流動負債	59,242	94,237	34,996	59.1
非流動負債	75,149	46,417	△28,732	△38.2
負債合計	134,390	140,654	6,263	4.7
資本合計	97,217	92,033	△5,185	△5.3

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,079百万円増加し、232,686百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券等のその他の金融資産（非流動資産）が8,791百万円、決済事業等に係る営業債権及びその他の債権が4,486百万円減少した一方、現金及び現金同等物が12,290百万円、営業投資有価証券が1,820百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて6,263百万円増加し、140,654百万円となりました。この主な要因は、金融資産の公正価値の減少等により繰延税金負債が2,811百万円減少した一方、決済事業等に係る営業債務及びその他の債務が7,713百万円、社債及び借入金（流動負債及び非流動負債）が3,218百万円増加したことによるものであります。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて5,185百万円減少し、92,033百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が親会社の所有者に帰属する四半期損失の計上により4,351百万円、配当金により1,648百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

インキュベーションテクノロジー事業にて展開する国内外の未公開企業等への投資・育成分野において、当社グループが保有する有価証券の期末時点における公正価値を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。

また、新型コロナウイルス感染症のリスクについては、当社業績への影響は限定的ですが、今後新型コロナウイルス感染症の経済社会に対する影響が拡大した場合には、当社業績に影響を与える可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	43,415	55,705
営業債権及びその他の債権	24,462	19,976
棚卸資産	347	368
営業投資有価証券	77,950	79,769
その他の金融資産	277	279
未収法人所得税等	88	554
その他の流動資産	1,103	767
流動資産合計	147,642	157,418
非流動資産		
有形固定資産	18,423	17,844
のれん	6,804	6,830
無形資産	4,194	4,344
投資不動産	3,171	3,719
持分法で会計処理されている投資	27,808	27,745
その他の金融資産	23,317	14,526
繰延税金資産	17	16
その他の非流動資産	231	244
非流動資産合計	83,965	75,268
資産合計	231,607	232,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	9,223	37,556
営業債務及びその他の債務	43,900	51,613
その他の金融負債	1,666	1,665
未払法人所得税等	394	245
その他の流動負債	4,059	3,159
流動負債合計	59,242	94,237
非流動負債		
社債及び借入金	40,710	15,594
その他の金融負債	10,683	9,877
退職給付に係る負債	480	465
引当金	480	481
繰延税金負債	22,001	19,190
その他の非流動負債	796	809
非流動負債合計	75,149	46,417
負債合計	134,390	140,654
資本		
資本金	7,692	7,818
資本剰余金	6,147	6,226
自己株式	△1,409	△1,293
その他の資本の構成要素	2,273	2,344
利益剰余金	81,035	75,090
親会社の所有者に帰属する持分合計	95,738	90,186
非支配持分	1,479	1,847
資本合計	97,217	92,033
負債及び資本合計	231,607	232,686

(2) 要約四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	12,073	12,146
営業投資有価証券に関する収益	13,728	233
その他の収益	549	336
金融収益	11,401	1,041
持分法による投資利益	2,358	809
収益計	40,109	14,564
費用		
売上原価	5,148	5,117
販売費及び一般管理費	7,134	7,869
その他の費用	188	167
金融費用	212	8,052
費用計	12,683	21,206
税引前四半期利益 (△損失)	27,425	△6,642
法人所得税費用	9,017	△2,203
四半期利益 (△損失)	18,409	△4,439
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	18,496	△4,351
非支配持分	△87	△89
1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失)	401.21	△92.21
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失)	362.60	△92.21

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	6,068	6,144
営業投資有価証券に関する収益	9,834	△7,301
その他の収益	223	176
金融収益	11,382	△1,090
持分法による投資利益	1,758	△1,099
収益計	29,266	△3,170
費用		
売上原価	2,617	2,495
販売費及び一般管理費	3,831	4,112
その他の費用	117	87
金融費用	151	7,982
費用計	6,715	14,676
税引前四半期利益 (△損失)	22,551	△17,846
法人所得税費用	7,453	△5,987
四半期利益 (△損失)	15,098	△11,859
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	15,152	△11,818
非支配持分	△54	△42
1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失)	328.60	△250.20
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失)	296.52	△250.20

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益 (△損失)	18,409	△4,439
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	△407	△828
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△9	22
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	21	938
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	0	0
税引後その他の包括利益	△395	132
四半期包括利益	18,013	△4,308
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	18,100	△4,225
非支配持分	△87	△82

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益 (△損失)	15,098	△11,859
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	△341	△402
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△2	22
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	22	346
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	0	0
税引後その他の包括利益	△321	△34
四半期包括利益	14,777	△11,893
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	14,831	△11,854
非支配持分	△54	△39

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2021年4月1日 残高	7,637	4,566	△4,915	853	1,217	△7	2,062
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				△416	21		△395
四半期包括利益	—	—	—	△416	21	—	△395
新株の発行	39	39					—
支配継続子会社に対する持分変動		0					—
連結範囲の変動							—
配当金							—
株式報酬取引		163	84				—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△175			△175
その他		△7					—
所有者との取引額等合計	39	194	84	△175	—	—	△175
2021年9月30日 残高	7,675	4,760	△4,831	261	1,237	△7	1,491

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2021年4月1日 残高	52,785	62,134	947	63,082
四半期利益(△損失)	18,496	18,496	△87	18,409
その他の包括利益		△395	0	△395
四半期包括利益	18,496	18,100	△87	18,013
新株の発行		77		77
支配継続子会社に対する持分変動		0	△23	△22
連結範囲の変動		—	67	67
配当金	△1,475	△1,475		△1,475
株式報酬取引		247		247
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	175	—		—
その他	25	18		18
所有者との取引額等合計	△1,274	△1,133	44	△1,088
2021年9月30日 残高	70,007	79,102	905	80,007

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2022年4月1日 残高	7,692	6,147	△1,409	613	1,660	0	2,273
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				△806	932		125
四半期包括利益	—	—	—	△806	932	—	125
新株の発行	126	126					—
支配継続子会社に対する持分変動		13					—
配当金							—
株式報酬取引		△59	116				—
自己株式の取得			△0				—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△54			△54
所有者との取引額等合計	126	80	116	△54	—	—	△54
2022年9月30日 残高	7,818	6,226	△1,293	△248	2,592	0	2,344

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2022年4月1日 残高	81,035	95,738	1,479	97,217
四半期利益(△損失)	△4,351	△4,351	△89	△4,439
その他の包括利益		125	6	132
四半期包括利益	△4,351	△4,225	△82	△4,308
新株の発行		251		251
支配継続子会社に対する持分変動		13	450	463
配当金	△1,648	△1,648		△1,648
株式報酬取引		57		57
自己株式の取得		△0		△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	54	—		—
所有者との取引額等合計	△1,594	△1,326	450	△877
2022年9月30日 残高	75,090	90,186	1,847	92,033

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	27,425	△6,642
減価償却費及び償却費	1,778	1,804
受取利息及び受取配当金	△1	△24
支払利息及び社債利息	117	134
持分法による投資損益 (△は益)	△2,358	△809
投資有価証券に関する損益 (△は益)	△11,325	7,911
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	7,352	4,494
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△14,318	△1,082
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△35	△21
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,323	7,784
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△649	△273
その他	387	△1,086
小計	7,049	12,190
利息及び配当金の受取額	727	759
利息の支払額	△35	△50
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,563	△659
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,179	12,239
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,284	△234
無形資産の取得による支出	△619	△772
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	340	128
子会社の取得による支出	△301	—
持分法で会計処理されている投資の取得による 支出	△538	△38
その他	109	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,293	△894
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,700	3,030
長期借入れによる収入	—	1,100
長期借入金の返済による支出	△2,608	△1,237
リース負債の返済による支出	△872	△867
非支配持分からの払込による収入	42	463
配当金の支払額	△1,473	△1,647
その他	△86	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,298	851
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	94
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,616	12,290
現金及び現金同等物の期首残高	37,989	43,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,605	55,705

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

なお、当社グループの報告セグメントの利益(△損失)は、税引前四半期利益(△損失)をベースとしており、セグメント間の収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャ ルテクノロジー 事業	マーケティン グテクノロジー 事業	インキュベ ーションテク ロジー事業	ロングターム インキュベ ーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業 から生じる収益	5,094	6,272	—	707	12,073	—	12,073
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	13,728	—	13,728	—	13,728
その他の収益	0	45	210	160	416	133	549
金融収益	1	6	1,181	△1	1,187	10,214	11,401
持分法による投資 利益	96	△8	1,110	1,161	2,358	—	2,358
外部収益計	5,191	6,314	16,229	2,028	29,762	10,347	40,109
セグメント間収益	35	71	105	0	211	△211	—
収益計	5,225	6,385	16,334	2,028	29,972	10,136	40,109
セグメント利益	2,228	431	15,522	1,078	19,259	8,166	27,425

(注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額8,166百万円には、セグメント間取引消去△2,617百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益13,301百万円及び全社費用△2,518百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。

3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	5,589	5,758	—	799	12,146	—	12,146
営業投資有価証券に関する収益	—	—	233	—	233	—	233
その他の収益	1	2	199	5	207	129	336
金融収益	△35	3	447	△1	414	627	1,041
持分法による投資利益	63	12	△890	1,624	809	—	809
外部収益計	5,618	5,775	△11	2,426	13,808	755	14,564
セグメント間収益	44	234	7	1	285	△285	—
収益計	5,662	6,009	△4	2,427	14,094	470	14,564
セグメント利益(△損失)	2,430	372	△963	1,293	3,132	△9,774	△6,642

- (注) 1. 報告セグメントの利益(△損失)の金額の調整額△9,774百万円には、セグメント間取引消去△2,857百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益4,130百万円及び全社費用△11,048百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融費用であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。

前第2四半期連結会計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	2,624	3,059	—	385	6,068	—	6,068
営業投資有価証券に関する収益	—	—	9,834	—	9,834	—	9,834
その他の収益	0	45	105	6	156	67	223
金融収益	0	1	1,162	△0	1,163	10,220	11,382
持分法による投資利益	50	△7	1,112	603	1,758	—	1,758
外部収益計	2,675	3,098	12,214	994	18,980	10,286	29,266
セグメント間収益	19	36	98	0	153	△153	—
収益計	2,693	3,134	12,311	994	19,132	10,134	29,266
セグメント利益	1,120	183	11,886	504	13,693	8,858	22,551

- (注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額8,858百万円には、セグメント間取引消去△96百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益10,502百万円及び全社費用△1,549百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャ ルテクノロジー 事業	マーケティン グテクノロジー 事業	インキュベ ーションテク ノロジー事業	ロングターム インキュベ ーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業 から生じる収益	2,873	2,877	—	394	6,144	—	6,144
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	△7,301	—	△7,301	—	△7,301
その他の収益	1	0	105	3	110	66	176
金融収益	△12	△31	165	1	124	△1,214	△1,090
持分法による投資 利益	35	1	△1,918	783	△1,099	—	△1,099
外部収益計	2,898	2,848	△8,949	1,181	△2,023	△1,147	△3,170
セグメント間収益	28	147	4	0	179	△179	—
収益計	2,925	2,995	△8,945	1,181	△1,844	△1,326	△3,170
セグメント利益 (△損失)	1,309	272	△9,443	609	△7,253	△10,593	△17,846

- (注) 1. 報告セグメントの利益(△損失)の金額の調整額△10,593百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益△873百万円及び全社費用△9,714百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融費用であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。